



センター長	女性部	茶	苺・水稻・蔬菜	果樹	購買
瀧口信也	大越	深井邦	深井恵・片井	榮	酒井・萩原・瀧田・森川・齋藤

**ゴールデンウィーク
購買店営業日**

日	月	火	水	木	金	土
4/26 休業	27 通常営業	28 通常営業	29 休業	30 通常営業	5/1 通常営業	2 AM営業
3 休業	4 休業	5 休業	6 休業	7 通常営業	8 通常営業	9 AM営業

行政補助事業について



① 野生鳥獣害防除資材（電気柵等）の補助制度について

申込手順：必ず設置者本人が市役所（中山間地振興課）へ
直接電話申し込みをする。連絡先：054-294-8807

※ 捕獲事業にも限界がありますので各自で、圃場を防護するようご利用ください。
※ 不明な点については、東部営農経済センター迄ご相談ください。

② いきいき都市農家支援事業について

補助対象者：農業収入が50万円以上且つ市街化区域に農地（借地を含む）を所有している方。
補助額：事業費の1/2以内の額（上限30万円）
補助対象となる施設・機械：トラクターなどの機械類、農産物を貯蔵するための冷蔵庫等
※補助対象にならない資材もあります。不明な点は営農経済センター迄ご相談ください。

茶

管内の茶の生育状況は、昨年より2～3日早いと思われませんが、作柄は平年並みの生育と思われま
す。今後の降雨、気温の上昇で生育がさらに進むことも考えられますので、計画を立てて摘採を実施
しましょう。また、3月中旬の寒さの影響を受けた場所がありましたら硫酸を10a当り2袋、施用
し樹勢回復を行ってください。

今後の管理

◇ 1番茶摘採の注意事項

- 摘採前に茶株面の落葉等の異物を除去する。
- 樹勢維持の為、1葉程度残す摘採とする。（古葉は絶対に製品に入れない）
- 摘採は早めを開始し、茶期後半に硬葉化しないように注意する。
- 摘採した生葉にイタミが生じないように、取扱いに十分注意する。
- 茶工場内外での異物混入の防止、衛生面にも十分気を配る。

（異物とは、製品の荒茶以外の物すべてが該当します。）

- ※ 履歴を確認し個人毎の茶摘採可能日を把握し作業を行ってください。
- ※ 各自計画的な摘採に心掛けて実施して下さい。



◇ 1番茶後の整枝（ナラシ）

- <時期> 1番茶摘採後、10～14日経過し、遅れ芽が出揃った頃。
- <深さ> 遅れ芽を取り除き、摘採面を揃える程度。
※1番茶摘採面より深くならないように注意する。

◇ 病虫害防除

一番茶摘採後	カンザウハダニ チャノナガサビダニ ウンカ、スリップス	アグリメック劇	1,000倍	14日
2番茶萌芽期	炭そ病・もち病	オンリーワンFL	2,000倍	7日
	ウンカ、スリップス	ウララDF	1,500倍	

※周辺茶園が摘採前の場合は、必ず園主同士で確認し防除を行うか決めて下さい。

◇ 2茶肥

- <時期> 1番茶摘採後10～15日（摘採30日前）
- <施肥量> 化成肥料 3～4袋/10a（施肥後はできるだけ中耕する。）
※ 2番茶を摘採しない圃場でも、樹勢回復の為、施用は行いましょう！

柑橘

【状況】 令和2年度産の柑橘の着花量は、樹や品種によって表裏の様相が違う状況です。樹勢は老木
樹が多いため総じて悪い状況です。生育については品種により異なりますが、開花はやや早い
と予想されるので管理が遅れないようにしましょう。

【防除】

・温州みかん

時期	病虫害名	農薬名	使用倍率	日数-回数
3分咲き期	灰色カビ病	スイッチ顆粒水和剤	3,000倍	7日-3回
	チャノキイロアザミウマ	マッチ乳剤 又は スタークル顆粒水溶剤	2,000倍 2,000倍	14日-3回 前日-3回
落弁期	チャノホコリダニ	コテツフロアブル劇	4,000倍	前日-2回
	チャノキイロアザミウマ 黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	30日-4回

・中晩柑

時期	病虫害名	農薬名	使用倍率	日数-回数
5月上中旬 (満開時)	灰色カビ病	スイッチ顆粒水和剤	3,000倍	45日-2回
	チャノキイロアザミウマ	マッチ乳剤 又は スタークル顆粒水溶剤	2,000倍 2,000倍	21日-1回 前日-3回
5月下旬	チャノホコリダニ	コテツフロアブル劇	4,000倍	前日-2回
	チャノキイロアザミウマ 黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	90日-4回
6月上旬	かいよう病	ICボルドー412	50倍	

- 温州みかん、中晩柑共に他の作物と隣接している栽培圃場又は、そうか病を防除する場合、
スイッチ顆粒水和剤をフロンサイドSC 2,000倍又はファンタジスタ顆粒水溶剤 4,000倍に
代えて使用して下さい。

新型コロナウイルスにならない、させない為に

3つの密 『密閉』・『密接』・『密集』 に注意してお過ごし下さい。



落葉果樹

作物名	時期	病害虫名	農薬名	使用倍数	日数-回数
キウイ	5月中旬	かいよう病	コサイド3000	2,000倍	収穫後から 果実肥大期まで
			クレフノン	200倍	
梅	5月上旬	黒星病	ストロビーDF	3,000倍	7日-3回
梨	5月上旬	黒星病	ベルコート水和剤	1,500倍	14日-5回
		アブラムシ類	アクタラ顆粒水溶剤	3,000倍	前日-3回
	5月中旬	黒星病・輪紋病	ベルコート水和剤	1,500倍	14日-5回
		ハマキムシ類	ロディー水和剤40劇	1,000倍	前日-2回
柿	5月上旬	黒星病・落葉病 うどんこ病	ベルコート水和剤	1,500倍	14日-3回
	5月中旬	チャドクガミマ	コテツFL劇	2,000倍	14日-2回
	5月下旬	うどんこ病・落葉病 灰色カビ病	ストロビーDF	3,000倍	14日-3回

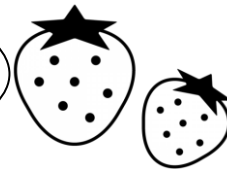
※ 落葉果樹の農薬は取り寄せになる剤もありますので、早めの確認をお願いします。

いちご

JA 静岡市苺委員会 荷口採取品評会 結果
 紅ほっぺ 一等 森千尋 様
 きらび香 優等 小泉泰士 様 一等 森 雅弘 様



おめでとう
 ございます!



《本圃》病害虫防除

病害虫	薬剤名	倍率	日数	回数	入蜂	天敵
うどんこ病	パレード20フロアブル	2000~4000倍	前日	3回	なし	なし
灰色かび病	スミレックス燻煙剤	6g/100m ³ (50m ³ ×高さ2m)	前日	3回	なし	なし
アザミウマ	ファインセーブ劇	1000~2000倍	前日	3回	なし	1日
	ベネビアOD	2000倍	前日	3回	なし	1日
アブラムシ	ウララDF	2000倍	前日	2回	なし	なし
ハダニ	ダニコングフロアブル	3000倍	前日	1回	なし	なし

※ダニコング(フ)はダブルエース(フ)と同成分のためいずれか1回のみでの使用です。
 ※灰色かび病の対策にはくん煙剤が有効ですが、使用には十分に気を付けてください。

《親株管理》

- ☆ 肥切を防ぐため、14~20日に1回IB化成S1号を6~8粒/株を施す。
- ☆ きらび香は気温が低いとランナー発生が遅いので、保温できる圃場では保温する。

時期	親株充実	親株が充実しない時に発生した細かいランナーは外し、充実したランナーを残す。
4月	親株充実	
5月中下旬~	ランナー発生	
6月中旬~7月中旬	採苗	充実したランナーのみ
7月下旬~8月上旬	切り離し	最終ポット受けから最低20日間あける。

※ 極端に早いポット受けは老化苗の原因になりますので適期に採苗しましょう。

※農薬名に劇が付いている農薬は購入時に印鑑が必要になります、ご持参ください。

育苗圃防除 (葉かき等の作業前後では炭そ病防除を!)

時期	殺菌剤			殺虫剤(必要に応じて混用、散布)		
4月4週	サンヨール	500~1,000倍	6回	コテツフロアブル劇	2000倍	2回
4月5週	ゲッター水和剤	1,000倍	3回			
5月1週			-	アカリタッチ乳剤	1,000~3,000倍	-
5月2週	タフパール	2,000~4,000倍	-	コロマイト乳剤	1,000~1,500倍	2回
5月3週	ジーファイン水和剤	750~1,000倍	-	トルネードDF	2,000倍	2回

野菜

《トウモロコシ》

アワノメイガ	プレバソフロアブル	2,000倍	前日まで	3回
	トレボン乳剤	1,000倍	7日前まで	4回

防除適期...雄穂・雌穂出穂時期の2回

ヤングコーンの収穫を行う方はフェニックス顆粒水和剤を使用ください。

《エダマメ》

カメムシ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	7日前まで	2回
	トレボン乳剤	1,000倍	14日前まで	2回

防除適期...開花時期~若莢期



水稻

(1) 塩水選 (購入籾でも必ず行う)

- ・10aあたり4kgの籾を準備
- ・塩水選した後に十分水洗いする。

	比重	10Lあたり	
		塩	硫安
うるち	1.10	1.6kg	2.0kg
もち	1.06	0.9kg	1.1kg

(2) 種子消毒 下記薬剤に24時間浸漬する

病害虫	薬剤	倍率	薬量
ばか苗病	テクリードC	200倍	100ml/水20L
もみ枯細菌病			
イネシンガレセンチュウ	スミチオン乳剤	1,000倍	20ml/水20L

※ 薬液から取り出したら、水洗いせず、種籾の倍量の精水に3~4日間静置浸漬しておく。

- (3) 芽だし: 30℃前後に加温(温水に浸し)、1mm程度目出しする。
- (4) 育苗箱はイチバン(1000倍)で殺菌する。
- (5) 床土: 宇部倍培土又は粒状パールマット 1箱あたり4kg(床3kg、覆土:1kg)
- (6) 根上がり防止のために十分灌水。籾は一箱あたり150~160gを均一に撒く。
 苗立枯病予防にダコレート水和剤(500倍、500ml/箱)(播種後灌水の代わりに)
- (7) 籾枯細菌病が心配な場合はツインターボ箱粒剤(一箱あたり50グラム)を覆土前に散布する。
 ※ ツインターボ箱粒剤をこの時期に使用した場合、田植え時に箱粒剤処理は不要です。
- (8) タチガレン液剤(500倍)を箱あたり500ml灌注すると丈夫な苗に!
 ※ ダコレートとタチガレンは混用不可、近接散布する場合は10日以上あけて散布する。